



国際教養大学

中嶋学長インタビュー

国際社会で活躍する人になる



Special Edition

国際教養大学 理事長・学長 中嶋嶺雄

2004年4月に開学した国際教養大学(AIU)は、2007年度第一期卒業生就職率100%、2008年度99.1%、2009年度100%、2010年度100%という驚異的な就職率で注目されている全国初の公立大学法人です。AIUの教育理念、教育実践をとおり、国際社会で求められる人材像を探ります。



CAMPUS VISIT IN 国際教養大学
キャンパス訪問したCG高等館
東進衛星予備校の生徒に講
義をする中嶋学長

グローバル・スタンダードの大学

新しい大学を設置したいと秋田県から私にオファーがきたのは2000年、21世紀のグローバル時代が求める教育を根本的に考え直し、時代が求めるニーズを満たす大学を創るのなら意味があると思います、現在の日本に必要な人材づくりを決意しました。目標にしたのはグローバル・スタンダード(国際基準)であり、それに沿ったカリキュラムを提供し、開かれた大学として運営が行われる大学です。ゼロから新しくデザインし、2004年、秋田に本学が開学しました。

私の考えるグローバル・スタンダードとは次の3点です。1点目は全ての授業が英語で行われること。これからの社会に求められるのは、多様な文化を持つ人々と共通言語である英語で濃密なコミュニケーションをとり、チームの中で積極的なリーダーシップを発揮できる人です。実践的な英語のコミュニケーション能力を身につけ、英語で意思を伝えられることが必要不可欠なのです。2点目はカリキュラムです。大学名称が表す通り、本学では教養教育(リ

ベラルアーツ)を行います。私はこの教養教育が大学の学部段階(Under graduate)では一番重要だと思っています。しっかりと教養を身につけることは、種々の問題を考える上での基礎になりますし、幅広い分野を学習してこそ何を専攻するかが見えてくるからです。本学の教養履修分野は

とても幅広いのが特長です。社会学、文化人類学から人口学などの社会科学、化学や生物などの自然科学、音楽、美術などの芸術科目、平和科学まで学びます。また、全ての科目にインターナショナル・コード(※1)をつけているので、留学生は大学に来る前からどんなレベルのどんな科目を学べるのか一目瞭然です。3点目はセメスター制とGPAの導入です。入学機会を4月と9月に2回設けるセメスター制は、海外からの留学生受け入れや本学からの留学・帰国に際して柔軟に対応できる国際的なものさしと言える制度だと思っています。GPA(※2)(Grade Point Average)は成績の累積評価平均点と呼ばれますが、各科目の成績から特定の方式によって算出されます。欧米の大学や高校

などで一般的に使われており、留学の際などに学力を測る指標となります。

AIUの教育

本学の教育の特色は①授業はすべて英語②1年間の海外留学が義務③1クラス19人以下の徹底した少人数教育ですが、このどれが欠けてもAIUの学びは完成しません。新入生はまず、全員TOEFLを受けます。この結果をもとにクラス分けし、英語集中プログラム(EAP)で英語を学びます。本学での授業やのちの留学先において、英語で行われる講義を聴く、ノートをとる、理解して考える、考えたことを発表する、討論する、レポートや論文として作成するなど、大学で学ぶために必要な英語力の習得のためです。EAP修了後は基盤教育に入りますが、義務付けている留学をそろそろ考え始めます。留学の条件はTOEFL(PBT)550以上で、このレベルに到達した学生から世界35の国・地域にある121の提携大学に留学可能となります。これは留学先で様々な国の人たちに混じって専門教育を受けるわけですから当然の準備といえます。

※1 インターナショナル・コード(科目番号)

100番台は基礎、200、300番台は中級、400番台は上級科目というように授業科目のレベルに応じてコードをつけること。ある程度標準化しているためシラバス公開で学生が他の大学に留学する際など事前にカリキュラムが組める。

例) AIUの例

100番台	CHN100	Introduction to Chemistry
200番台	HUM230	History of Music
300番台	PLS375	Transnational Law
400番台	ECN435	East Asia Political Economy

フレル
furel

国際教養大学 中嶋学長インタビュー
Special Edition

国際社会で活躍する人になる

学生たちは24時間365日開館している図書館などを活用して猛勉強していますね。

本学は就職率100%で注目されているようですが、これはグローバル社会のニーズに応えた人材を輩出している結果です。企業の人事担当者は「A-IUの学生は超えたハードルの高さが違う」と言います。秋田という地、英語の授業、一定以上の英語力の獲得、留学先での専門科目の単位取得など学生は確かに一生懸命頑張っていると思います。しかし英語ができるから採用されるのではなく、留学も含めた二連の教育の中で、困難な状況に陥ったときすべて自分で打破する前向きな精神と問題解決能力が備わっているからだと思います。A-IUは学生の約50%しか4年間では卒業しないほど鍛えられる大学です。今回の大震災でも、日本の発信力の弱さを痛感しました。世界に日本の状況を堂々と発信できる人材をこれから育てていきたいと思っています。



中嶋学長から保護者の方へ 「世界に通用する子どもの育て方」 フォレスト出版より

「異文化教育」は、英語教育も含めて今こそ必要とされています。グローバル化によって日本人だけが日本人の集団を作って住んでいればいいという社会ではなくなってきました。これからは日本社会が異文化を受け入れるだけでなく個人個人が積極的に異文化に接していく必要があります。その時に求められるのが、日本人としての発信力です。日本人として世界と対話し、時に競争し、時に協調していく。英語力も含めて、世界中の人と対等に渡り合う力が必要になってくるのです。

よく海外留学をした学生が「日本のことを聞かれて困った」という話を聞きます。日本の中だけで暮らしていると日本のことはよく見えないものです。むしろ異文化を知ることがあらためて日本の文化を見つめ直すいい機会になるはずですよ。そして異文化を知るには言葉を理解すること。そのために国語や計算ができるのと同じように英語に慣れ親しんでいくことが求められる

時代です。くれぐれも学校教育だけに頼ってはいけません。しっかりとした家庭教育があつてこそ、学校教育が生きていくのです。

家庭教育はお金がかかるものではありません。きちんとしつけやマナーを教え、予習復習を毎日する習慣を身につけさせてあげる。子どもを温かく見守り、がんばった時はきちんとほめてあげる。親の心構え次第でできることではないでしょうか。

子どもが社会で独り立ちできるように手引きすることが親の役目です。子どもをどんな学校に進学させるか、あるいは子どもの夢と社会情勢がどのようにマッチしていくのか。景気動向や技術進歩、あるいは流行など、いろいろな要素からさまざまな可能性を考慮しアドバイスをしていくことが大切です。そのためには親自身が社会情勢をよく知らなければなりません。教養も磨かなくてはなりません。世の中がこれほど変わっているのに相変わらず「グローバル化以前の人生設計」を押しつけてしまつては、新たな時代を生きる子どもには納得してもらえないでしょう。

※2 GPA

成績 Grade	成績点 Score	評価点 Grade Point
A+	100	4.00
A (Excellent)	95-99	4.00
A-	90-94	3.70
B+	87-89	3.30
B (Good)	83-86	3.00
B-	80-82	2.70

成績 Grade	成績点 Score	評価点 Grade Point
C+	77-79	2.30
C (Satisfactory)	73-76	2.00
C-	70-72	1.70
D+	66-69	1.30
D (Poor)	60-65	1.00
F (Failure)	59 or lower	0

GPAの算出例				
履修科目例 (Course)	成績 (Grade)	評価点 (GP)	単位数 (Crds)	換算値 (GP×Crds)
英作文	A	4.00	3	12.00
代数学	C	2.00	4	8.00
中国語I	B	3.00	2	6.00
計			9	26.00

GPA: $26.00 \div 9 \div 2.89$ ※少数第3位以下は四捨五入

大学入試の現状と今後

「大学全入時代」から見えてくる、これからの大学入試を探ります。

今、大学入試は何を目的に、どう変わろうとしているのか？

① 二極化が進む 大学入試

選ばなければだれでも大学に進学できる今の時代、私立大学の4割が定員割れを起こす一方、国公立大学、有名私立大学の入試は相変わらず狭き門となっています。

※進学率は、高校卒業者の大学および短期大学進学率（通信を除く）に対する割合を示す（8月文部科学省発表を基準）



② 私立大入試は半数が「推薦・AO入試」。「センター利用」は変化の兆し。

センター試験

センター利用の私大は503大学におよび、センター試験は入試の一次関門と言われていますが、難関私大でのセンター利用廃止など新たな動きも出始めており、動向が注目されます。

大学入試センター試験の利用私立大学・学部数の推移



推薦・AO入試

私大入学者のほぼ半数が推薦入試などで入学しています。一方国公立大や難関私大の推薦・AO入試は難度も高く、明確な志望動機と一定以上の学力が問われます。

※公立大の別日程入試、外国人留学生選抜等を含まない。「その他」は、専門学校・総合学科卒、帰国子女、社会人等の選抜（文部科学省資料より）
※割数処理のため合計が100%にはなりません。

私立大選抜方式ごとの大学入学者の割合（2010年度）



③ 「大学の大衆化」への対応

受験者・定員確保のための入試の軽量化は、同時に学生の学力低下や中途退学の問題を招いています。高等教育の水準維持に向けた動きが今後さらに進み、新学習指導要領世代の2016年度入試に大きな変化があると予想されます。

●推薦・AO入試での学力テスト義務化？

●センター試験での難度別の2本化？

※掲載の情報は2011年8月4日時点の情報です。

「どこを出たか」ではなく「どこで何を学んだか」が問われる大学全入時代。専門知識を習得する、知識基盤社会で活躍できる素養を高めるなど目的意識を明確に持つこと、高等教育を吸収できる基礎学力を培うことが、ますます重要となっていきます。

フレル
furel

国際教養大学 中嶋学長インタビュー
Special Edition

国際社会で活躍する人になる

お子さまの夢実現を応援! 神奈川の受験情報マガジン

フレル furel

入試の現在(いま)に触れる

受験生の現在(いま)に触れる

WEB
MAGAZINE
2011.9 vol.3

Special Edition

国際社会で 活躍する人になる

国際教養大学 中嶋学長インタビュー

中学・高校受験の志望校選びは?

志望校選びのポイント

平成25年度入試から新制度へ。furel編集部解説

神奈川県公立高校入試制度改革

